令和８年度予算案を審議

一般会計予算額は896億9200万円

予算審査特別委員会の様子

令和８年度一般会計予算については、６人で構成する予算審査特別委員会が２月26日に設置され、３月９日から11日、および13日の４日間にわたり審査が行われました。

その後、３月24日の本会議において、賛成多数をもって原案のとおり可決されました。

本会議における一般会計予算に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

【予算審査特別委員会】

委員長　笠原　久恵　委員
副委員長　中川　弘　委員
委員　桑畑　伴子　委員

委員　渡辺　仁二
委員　藤井　俊行
委員　おだぎり　たかし

予算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

流山市議会
予算審査特別委員会
検索

各会派等の意見表明

反対　日本共産党

反対理由の第１は、過去最大規模の予算、市民税が初めて２００億円を超える豊かな財源が市民要求の実現に活かされていないからです。特に物価対策は、令和８年度は国費を活用した中学校給食費保護者負担軽減のみ。しかも令和６年度、物価対策の国費が「防犯パトロール」マグネットステッカーなどに使われており、市民向けの物価対策の軽視は許されません。

理由の第２は、市民要望もなく、安全を脅かしかねない大型公共事業への巨額投資をするからです。特に、市民から「いざきロード」と揶揄される流山おおたかの森センター地区道路再整備２工区事業の説明会では、安全面などを不安視する声が多数寄せられました。来春の市長選前までの工事完了を優先するのではなく、一旦事業を凍結し、不安解消や一方通行化の社会実験こそ必要です。

いざきロードの令和８年度経費２億８千万円余りがあれば就学援助の拡大や高齢者交通施策拡大、救急医療体制への支援などが実現できます。市民目線で改めるべきです。

賛成　流政会

本予算は、人口増加に伴う市税収入の着実な伸びを背景としつつも、扶助費の増大や物価高騰、さらには社会保障費の一層の増加が見込まれる中で編成されたものであり、その舵取りには大変な苦労があったものと受け止めています。こうした厳しい財政環境の中にあっても、良質な住環境の維持を重視した都市政策や、教育・子育て分野への重点投資を明確に打ち出し、こども家庭センターの設置など切れ目のない支援体制の構築を進めている点は、高く評価します。

また、税務行政における丁寧な納税相談の姿勢や、ＤＸ推進による行政基盤の強化、多文化共生社会の実現に向けた取り組みも、本市の持続的な発展に資する重要な施策です。今後の予算執行にあたっては、都市基盤整備における説明責任の徹底、環境施策と地域経済の好循環の創出、教育施策のさらなる充実と横展開を強く求めます。本予算は、市民の安全・安心を守りつつ、将来の都市間の競争力を高めるものと判断し、賛成します。

賛成　公明党

賛成の主な理由は、令和８年度に、①こども家庭センターが設置され、こども・若者の権利保障や、子育てに関する支援がさらに充実すること。②医療的ケア児等在宅レスパイト事業が導入され、介護するご家族の各種負担軽減が図られること。③避難行動要支援者への支援がより充実すること。④教育分野では、フリースクール補助制度を導入するとともに、特別支援教育のさらなる推進など、児童生徒に寄り添った施策の充実が図られること。⑤国際情勢が緊迫する中、平和に関する施策がより充実すること。これらの点が挙げられ、審査を通じ各事業におおむね適切な予算配分がなされていることを確認したためです。その上で、次の２点を要望します。①学童保育においては、高学年児童の居場所の確保や、支援員の継続的な確保に注力すること。②事業の実施にあたっては、関係部署間の連携はもとより、地域資源の有効活用や外部関係機関との連携をより一層強化し、市民サービスの向上を図ること。以上の点を強く求めます。

賛成　流山みらい

本予算案は、本市が目指す「教育の質の向上」と「共働き世帯への寄り添い」を具体化させた内容と評価し、賛成します。道路整備では「こもれびストリート」に関連し、バリアフリー視点を持った前向きな市長答弁を評価する一方、駅西口への進入道路が１本に減少することによる混雑時の深刻な渋滞に対し、万全な対策を強く求めます。子育て支援では、母子保健と児童福祉を一体化する「こども家庭センター」の開設、相談拠点の新設、３地域での計画的な保育園整備など、切れ目のない支援体制の構築を高く評価します。教育分野では、第２期ＧＩＧＡスクール構想による校務ＤＸと個別支援の強化、インクルーシブ教育の推進、探究型学習（ＰＢＬ）への転換を支持します。また「夏休みこども教室」の新設や、民間委託による不登校児童生徒への多角的なアプローチも、多様な学びを保障する重要な施策です。以上の指摘事項を執行部は真摯に受け止め、今後の市政運営に反映させることを強く求め、賛成します。

賛成　自由民主党

おおむね評価できることから賛成とし、以下６点評価・指摘します。

①生物多様性モニタリング調査に対する市の取り組みに対し、予算措置を含む対策強化について表明した点は大いに評価します。

②流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業については、安全対策や関係機関との協議など、事前準備が不十分な状態であった点を踏まえ、指摘された課題に全力をもって取り組むことを求めます。

③ＤＭＯについては、観光に対する流山市としての明確なビジョンと同社の位置付けを示し、補助金などの説明責任を果たすことを求めます。

④一部の補助金・負担金の支出根拠についての説明が不十分であり、改善を求めます。

⑤パソコンの調達は、リース契約ありきではなく、条件について総合的な判断をすることを求めます。

⑥職員の執務環境について、すべての部署において国基準の一人当たり面積約４・８平方㍍の実現に向け着手することを強く求めます。